

福島漁業 再開に向けての歩み

日時 2014年11月2日(日)

→ポスターで見る 福島海と漁業 11:00~16:00

→カフェで語る 福島海と漁業 13:30~16:00 [13時開場]

会場 東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館 1階 ホール/大会議室

参加 無料・自由(会場に直接お越しください)

共催 東京海洋大学、東京海洋大学江戸前ESD協議会、福島県水産事務所、福島県水産試験場、福島県漁業協同組合連合会、いわき市漁業協同組合、相馬双葉漁業協同組合



昨年のカフェの様子



シラウオ水揚げ時の様子

2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故以来、福島県の沿岸漁業は操業を自粛しています。しかし、漁業関係者は、福島県が毎週おこなっているモニタリング調査にもとづいて放射性物質が不検出となった海域・魚種について試験操業を行い、安全で安心な魚を供給する漁業の再開に向けて努力を続けています。東京海洋大学も、福島県水産試験場とともに、大学練習船や漁業者の方々の協力を得て、福島県沿岸の海洋環境・生態系の状況や放射性物質の分布について調査研究を行っています。こうした福島海現場の様子をカフェとポスターでお伝えします。

■ポスターで見る 福島海と漁業 会場：楽水会館 1階ホール [11時~16時]

展示したポスターで、研究活動や福島県沿岸漁業の試験操業についてご紹介します。

- 魚類のCs濃度のこれから 荒川 久幸・内田 圭一・松本 陽(東京海洋大学)
- 沿岸生態系の放射能汚染状況 石丸 隆・神田 穂太(東京海洋大学) など

■カフェで語る 福島海と漁業 会場：楽水会館 1階 大会議室 [13時開場、13時半開始]

福島県の漁業者をはじめとする水産関係者のお話を聴き、テーブルで語りあっていただきます。

- 13:30~13:40 ごあいさつ 石丸 隆(東京海洋大学)・会場の全員
- 13:40~14:10 福島県の水産物の環境放射線モニタリング
神山 享一・山廻邊 昭文・水野 拓治・山田 学(福島県水産試験場)
- 14:10~14:20 福島漁業の今を聴く[1] 漁業者、水産指導普及員、漁協職員の方々
- 14:20~14:50 福島県沿岸漁業の試験操業の経過と課題
根本 芳春・廣瀬 充・鷹崎 和義・平川 直人(福島県水産事務所)
- 14:50~15:10 休憩
- 15:10~15:30 福島漁業の今を聴く[2] 漁業者、水産指導普及員、漁協職員の方々
- 15:30~16:00 福島海と魚をみんなで考える 会場の全員